

- ◇ 新年明けましておめでとうございます。皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることができました。新たな年を迎え、気持ちを引き締めて編集作業に臨む所存です。今年も変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。
- ◇ 新型コロナウイルス感染症の拡大からほぼ2年が経過しました。ワクチン接種が進む国々では、一定の感染者を許容する「With コロナ」において社会経済活動の再開・活性化が強く期待される一方で、感染症対策の重要性が再認識されています。本号のミニファイルでは「感染症対策」を紹介いたします。感染症対策を立案・実施する際の根拠となる科学的知見を得るために不可欠な分析化学の役割を再確認するとともに、将来の感染症対策に資する分析技術の開発と基盤整備にお役立ていただけるものと期待します。
- ◇ 本号を読みなおしてみると、平時から新技術開発と技術基盤の整備を図り、分析化学の基本であるデータの品質と信頼性を追求し、人々の社会経済活動の推進と安心・安全な社会を意識して活動することの重要性を改めて実感します。新年からこのような気づきを与えて下さった本号の執筆者の皆様へ深く感謝申し上げます。 [H. M.]

- 〈とびら〉
情報を幅広く、フラットに……………山本博之
- 〈入門講座〉 レーザーを用いる分析技術
レーザーアブレーション概説……………玉木哲也
- 〈展 望〉
「湿式化学分析の基盤をなす高度な技術はいかに継承・発展させていくか」
—鉄鋼化学分析の視点から—……………上原伸夫
- 〈ミニファイル〉 衛生と安全
不織布マスク……………岩井若菜
- 〈話 題〉
液体クロマトグラフ-タンデム質量分析計 (LC-MS/MS) を用いたペルフルオロアルキル化合物 (PFAS) の分析……………佐藤信武

◇ 編 集 委 員 ◇

〈委員長〉 勝田正一 (千葉大院理)		
〈副委員長〉 菅寿美 (海洋研究開発機構)		
〈理事〉 津越敬寿 (産業技術総合研究所)		
〈幹事〉 加藤大 (昭和大薬)	東海林 敦 (東京薬大薬)	菅沼こと (帝人(株))
	富岡賢一 (三菱マテリアル(株))	
〈委員〉 井倉則之 (九大院農)	上原伸夫 (宇都宮大工)	江坂幸宏 (岐阜薬科大学)
	岡村浩之 (日本原子力研究開発機構)	沖野晃俊 (東工大未来研)
	坂牧寛 (化学物質評価研究機構)	佐藤久 (北大院工)
	田中佑樹 (千葉大院薬)	谷合哲行 (千葉工業大先進工)
	中原佳夫 (和歌山大システム工)	野本知理 (千葉大院工)
	藤森英治 (環境調査研修所)	堀田弘樹 (神戸大院海事科学)
	宮下振一 (産業技術総合研究所)	村居景太 (株共立理化学研究所)
	森山孝男 (株リガク)	
		齊藤和憲 (日本大学生産工)
		高橋あかね (オルガノ(株))
		照井教文 (一関高専)
		東恭平 (東理大薬)
		松神秀徳 (国立環境研究所)
		村上良子 (山口大院創成)

☑ 複写される方へ

日本分析化学会は学術著作権協会(学著協)に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写する場合は、学著協より許諾を受けて複写してください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3階
一般社団法人 学術著作権協会

FAX: 03-3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾(著作物の転載願いや等)は、学著協では扱っていませんので、直接日本分析化学会へお尋ねください。

ぶんせき 2022年第1号(通巻565)

2022年1月1日印刷 定価1,000円
2022年1月5日発行 送料95円

編集兼発行人 公益社団法人 日本分析化学会

印刷所 〒173-0025 東京都板橋区熊野町13-11

株式会社 双文社印刷

発行所 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2
五反田サンハイツ304号

公益社団法人 日本分析化学会

電話 総務・会員・会計: 03-3490-3351

編集: 03-3490-3537

FAX: 03-3490-3572 振替口座: 00110-8-180512

© 2022, The Japan Society for Analytical Chemistry

購読料は会費に含まれています。